

群馬県商店街振興組合連合会 第42回通常総会・研修会開催

群馬県商店街振興組合連合会は、5月21日、高崎市・ホテルメトロポリタン高崎において、第42回通常総会・研修会を開催した。

通常総会

糸井良一会長を議長に選任、平成23年度事業報告・収支決算、平成24年度事業計画・収支予算、借入金残高最高限度、定款一部変更について審議がなされ、満場一致で原案通り可決承認・決定された。

また、任期満了により役員を改選、理事16人、監事2人を選出。新会長には、今川守氏（桐生市末広町商店街（振））が就任した。

研修会

総会終了後、研修会を開催。テーマは、「商店街の品格〜人と街を繋ぐ商いの心」。講師は（株）NTTデータ経営研究所の村橋保春氏。概要は以下の通り。

◆ ◆
商店街の原点は商人街であり、商店街衰退の原因は、商人の不在にある。商人の不在とは、後継者不足だけでなく、個性を持った商人が減ってきているということ。現在は、消費者主導型のモノが

売れない時代にある。商店街が栄えた流通業者主導型の時代ではないことを理解し、時代に即して自らも変化していくことが重要だ。

スーパーに行けばある商品が商店街にはない、のでは困る。生活者のニーズに合わせ、商店街が陳腐化しないよう努力しなければならない。今の商店街には、事業者としての意識が不足している。

商店街の品格とは、商人の活躍する街に自ずと生まれてくるものである。そのためには、生活者主導の時代に対応し、商人としての在り方を見直すことが必要だろう。

群馬県商店街振興組合連合会役員名簿

役職名	氏 名	所 属
会 長	今 川 守	桐生市末広町商店街（振）
副 会 長	植 木 修	オリオン通り商店街（振）
"	中 村 光 雄	太田市本町商店街（振）
"	中 島 庸 一	沼田市中の会商店街（振）
"	武 田 秀 雄	藤岡市中央通り商店街（振）
"	友 光 勇 一	商店街（振）高崎中部名店街
"	入 沢 秀 樹	渋川駅前通り商店街（振）
"	吉 田 満	富岡市宮本町商店街（振）
理 事	間 渕 廣 一	立川町大通商店街（振）
"	飯 塚 伸 彦	前橋中央通り商店街（振）
"	金 井 正 夫	桐生市錦町商店街（振）
"	茂 木 理 亨	桐生中央商店街（振）
"	東 山 豊	桐生市本町六丁目商店街（振）
"	鈴 木 務	沼田市下之町商店街（振）
"	岡 本 隆 司	高崎中央銀座商店街（振）
"（顧問）	糸 井 良 一	高崎中央銀座商店街（振）
監 事	大 橋 慶 人	前橋中央通り商店街（振）
"	野 口 哲 夫	桐生中央商店街（振）



群馬県の温泉の魅力に学ぶ

群馬県給食協同組合連合会第41回通常総会・講習会開催

群馬県給食協同組合連合会(竹澤博会長、会員4組合)は、6月8日、渋川市伊香保町・ホテル木暮にて第41回通常総会・講習会を開催した。

竹澤会長を議長に、議案の審議がなされ、事業報告・決算、事業計画・収支予算、経費の賦課徴収方法、借入金残高の最高限度、定款一部変更が満場一致で原案通り可決承認・決定された。また、任期満了による役員改選も行われ、理事8人、監事2人の新役員を選出、併せて開催された理事会で、竹澤会長が会長に再選された。その後、「温泉に学ぶ地域資源活用」をテーマにフリーライターの小暮淳氏より講習会が行われた。

概要は以下の通り。

◆ ◆
群馬県内には105の宿泊施設を伴う温泉地がある。その半数以上は1軒宿である。例えば「法師



小暮 淳氏

温泉」には「長寿館」しかない。たとえ1軒宿であっても、地図にはしっかり温泉名が表記される。

温泉地には300年から400年の歴史と文化がある。その一方、平成以降に県内各地に100軒以上作られた日帰り温泉は、「文明」の力で作られた温泉と言える。

温泉宿には、毎日の湯を管理する「湯守(ゆもり)」があり、その日の天候、温度などで湯を適温にしてくれる。匠の技であり、湯守がいるから、「ああいい湯だな」と感動することができるのである。日帰り温泉のコンピュータ制御の管理とは違う。

県内四大温泉地の1つである「四万温泉」は、今から10年程前から「何もないところが良い」という顧客の声を強く受け止め、今を守り続けることを指針とした。未だにコンビニも信号機もない。

県北部の「宝川温泉」は日本一の露天風呂をうたうが、それは470畳の広さだけでなく、寒冷地であっても「源泉かけ流し」のゆえんである。

県西部の「鹿沢温泉」は、「自然湧出」と「自然流下」が特徴で、湧き出した湯をそのまま湯船に届

けるため、その新鮮さが特徴だ。究極の温泉とは何か? その1つは、温度調整することもなく、引湯の必要もない、湧出したままのダイレクトな湯を味わえるものではないか? 「足元湧出泉」で有名な「法師温泉」は、「41℃の奇跡の湯」と絶賛されている。

群馬はブランド力が全国最下位とされるが、貴重な地域資源としての温泉を全国に発信することで、勝負を賭けても良いのではないか? たちまち群馬のブランド力は上位に食い込む実力があると確信する。群馬には「温泉しかないのか」と考える人はいないだろう。



地区別組合理事長懇談会を開催

県内4会場にて組合リーダーが意見交換



6月21日、22日、7月4日、9日の計4日間、地区別組合理事長懇談会を開催した。それぞれ、前橋市・マキユリーホテル、高崎市・エテルナ高崎、太田市・太田ナウリゾートホテル、渋川市・アーネリ渋川の4会場で行われた。

県内各地の組合理事長等の業界リーダーに出席を願い、情報交換を行うとともに本会に対する意見・要望等を頂戴した。各会場には、県産業経済部の産業政策課、商政課、工業振興課から各課長にも臨席いただいた。

当日は、金子会長が挨拶を行っ

た後、中山専務理事が座長となり懇談会が進行された。

まず、産業経済部から群馬県の産業経済施策について説明。次いで本会より、①第64回中小企業団体全国大会について、②全国大会要望事項について、③2012トップセミナーについて、④中小企業支援ネットワーク強化事業について、⑤中小企業等による「連携」省エネ活動事例集について、⑥景況調査について、⑦各種保険共済事業について情報提供を行い、意見交換へと移った。

意見交換では、業界の現状、現在組合で行っている事業、資格等の取得に向けた取組状況、異業種間の連携、商店街と地域の今後の展望、後継者確保の問題、災害発生の事前対策の構築、節電への取り組み、電力料金の値上げ問題、中央会の位置づけ、中央会や行政への要望、官公需の優先発注、等々多岐にわたる話題が提供され、組合リーダー・県・本会の間で活発な発言が交わされた。

忌憚ない様々な意見を受け、金子会長は次のように結んだ。

「ここに集まりの皆さんが覚悟を持って、中小企業の一歩の強

みであるスピードを生かして事業を展開していることに心から敬意を表する。皆さんの熱意をあらゆるところにお届けして、理解してもらったのが、中央会の役割であると認識している。そうすることで中小企業、ひいては群馬県の発展につながると信じている。それと同時に、世の中が変わっているのに、変わらない中央会であってはならないと強く感じている。そのためにも、皆さんの後押しが必要。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いしたい」



エコアクション21地域事務局群馬県中小企業団体中央会

エコアクション21認証・登録支援

自治体イニシアティブ・プログラム実施における事前説明会開催



EA21審査人 成田氏



小笠原室長

6月22日に前橋市・群馬県庁昭和庁舎で、25日に太田市・東毛産業技術センターで、エコアクション21（以後、EA21）認証・登録を目指す県内事業者に対し、群馬県が主体となり、本会地域事務局が協力して取り組む、EA21認証・登録制度「自治体イニシアティブ・プログラム」の、事前説明会を開催した。

同プログラムは、自治体のイニシアティブの下、域内の多くの事業者が、EA21審査人のアドバイスを受け、一斉にEA21に取り組むことで、地域の二酸化炭素排出量などの環境負荷とエネルギーコ



清水主任による説明

ストなどの削減が効率的に図られるとともに、参加事業者は認証・登録が得られる仕組み。

当日は、初めに、群馬県環境森林部環境政策課温暖化対策室小笠原祐二室長が主催者挨拶。

その後、地球温暖化対策係清水裕美子主任より「自治体イニシアティブ・プログラム実施について」説明が行われた。

次いで、EA21審査人成田佳生氏より「EA21概要と取得メリット」について説明が行われ、参加者は自社のマネジメントシステムの向上、コスト削減の意味合いからも熱心にメモを取っていた。

エコアクション21認証・登録を目指ませんか！

エコアクション21認証・登録制度とは、環境省が策定した「エコアクション21ガイドライン」に基づき、認証・登録を行う制度で、環境基本計画、21世紀環境立国戦略等にも位置付けられている制度です。

制度開始以来、約7300事業者が認証・登録されています。

同認証・制度は

①中小規模の事業者でも容易に取り組める環境マネジメントシステム

②二酸化炭素・廃棄物などの排出削減の具体的な取組ができ、その結果、エネルギーコストなどの削減が可能

③環境活動レポートを作成・公表することによって、社会・顧客とのコミュニケーションが図れるという仕組みです。

※詳細及び認証・登録等に関するお問い合わせは、本会情報課までお願い致します。